HBK-1200SE　特定保守製品　日立リビングサプライ

日本国内家庭用　Use only in Japan.

浴室乾燥暖房機（壁面取付タイプ）

工事説明書　販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ずこの工事説明書をお読みください。

取付工事は販売店・工事店さま（電気工事有資格者）が実施してください。（お客さま自身で工事しないでください）

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（内装材の制限、可燃物との距離の制限など）がありますので、詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。

特定保守製品に関するお願い

●本製品は、消費生活用製品安全法（消安法）で定められた特定保守製品です。
●特定保守製品の所有者は、所有者登録と点検期間に法定点検を行うなどの保守を行うことが必要です。

■同梱されている取扱説明書と所有者票（黄色のビニール袋に入っています）は、お客さまに必ずお渡しください。

■お客様にお名前や住所など所有者情報の登録をおすすめください。

●所有者情報は、所有者票の返送またはインターネットからご登録できます。
●詳しくは、取扱説明書の4〜7ページ「長期使用製品安全点検制度に関するお願い」をご覧ください。

●取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、お客さまに使用方法、お手入れ方法を説明してください。
●この工事説明書は取扱説明書とともにお客さまに保管して頂くように依頼してください。

安全上のご注意　（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みになり、正しくご使用ください。
■ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人々への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しております。
■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しております。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示（例）で区分し説明しています。

⚠	この記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
⊘	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。
●	この記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中には具体的な強制内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

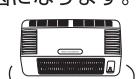
⚠ 警告

⊘	**配線コードにより線は絶対に使用しない。** 漏電・感電や火災のおそれがあります。
⊘	**浴室壁面取付専用の乾燥暖房機です。浴室以外の場所には取付けしない。** 感電・火災・故障の原因になります。
●	**取付けは、お買い上げの工事店または専門業者に依頼し確実におこなう。** ご自分で取付け工事をされ不備があると感電や火災・落下の原因になります。
⊘	**修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理はおこなわない。** 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
●	**メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属ダクトや、取付ベース板固定ネジが電気的に接触しないよう取付ける。** 漏電した場合発火することがあります。
●	**アース（D種接地）を確実に取付け、漏電遮断器を設置する。** 故障や漏電のときに感電することがあります。
⊘	**内釜式風呂を据付けた浴室では使用しない。** 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります。
⊘	**運転中に本体から異常や異臭が感じられたら、使用を中止し分電盤の専用ブレーカーを切る。** 異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になることがあります。
⊘	**単相交流100V以外では使用しない。** 火災や感電の原因になります。
⊘	**有機溶剤やスプレーを本体の近くに置かない。** 爆発や故障の原因になります。
⊘	**コンセントおよび換気扇用のスイッチは絶対に使用しない。** 漏電、感電や火災のおそれがあります。
⊘	**本体やリモコンに直接水やお湯、カビ取り剤などをかけない。** 故障や感電することがあります。
⊘	**リモコンは、床や浴槽に落とさない。** 故障の原因になります。
●	**ヒーターの熱を直接受ける場所に造営物が無い事を確認する。** 火災や故障・変形や変色・変質の原因になります。

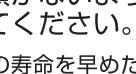
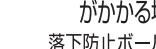
⚠ 注意

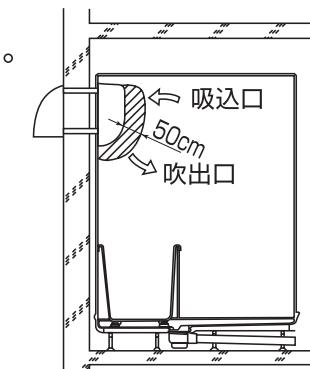
●	**本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う。** 落下により、けがをするおそれがあります。
●	**本体の取付けは本紙「取付のご注意」を守る。** 火災のおそれがあります。
●	**洗濯物はフロントパネルの吸込口・吹出口から50ｃｍ以上離す。** 本体吹き出し口に近づけ過ぎると、火災や故障、衣類の変色や変質の原因になります。
●	**部品の取付けは確実に行う。** 落下により、けがをするおそれがあります。
⊘	**強い振動や衝撃を与えない。** グラファイトヒーターが破損し、感電やガラス破片によりけがの原因になります。
⊘	**グラファイトヒーターを指などで触らない。** ヒーターの寿命が短くなったり、故障や破損、やけどの原因になります。

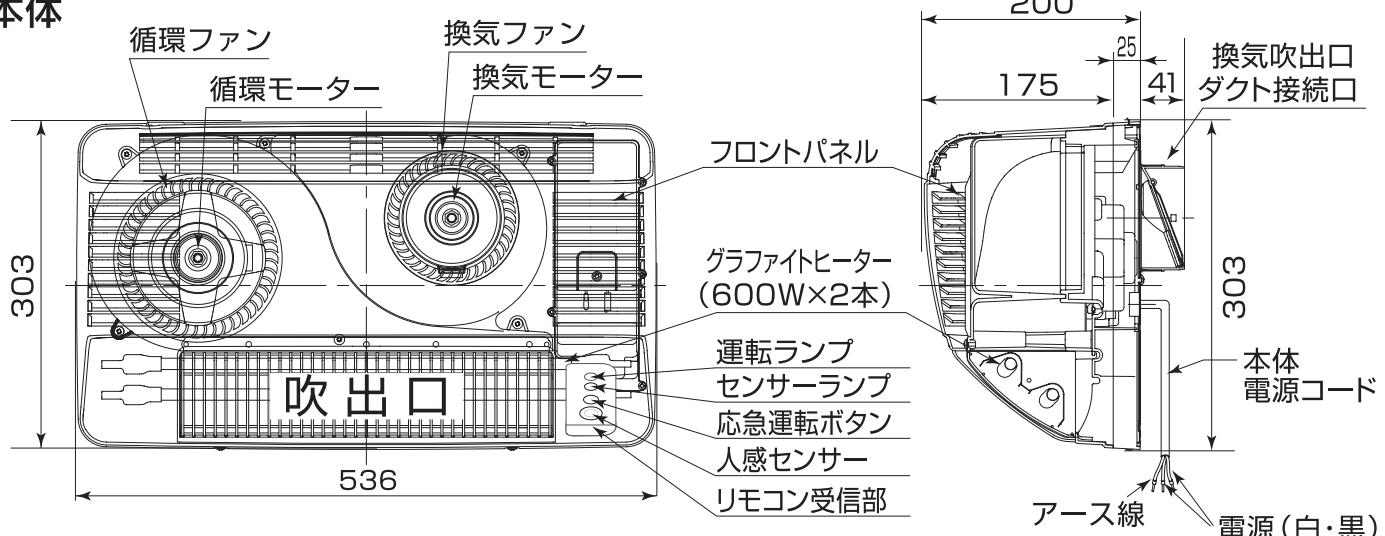
お願い

⊘ 油煙、タバコの煙の多い場所に取付けないでください。
故障の原因になります。

⊘ 温泉に取付けないでください。
故障の原因になります。

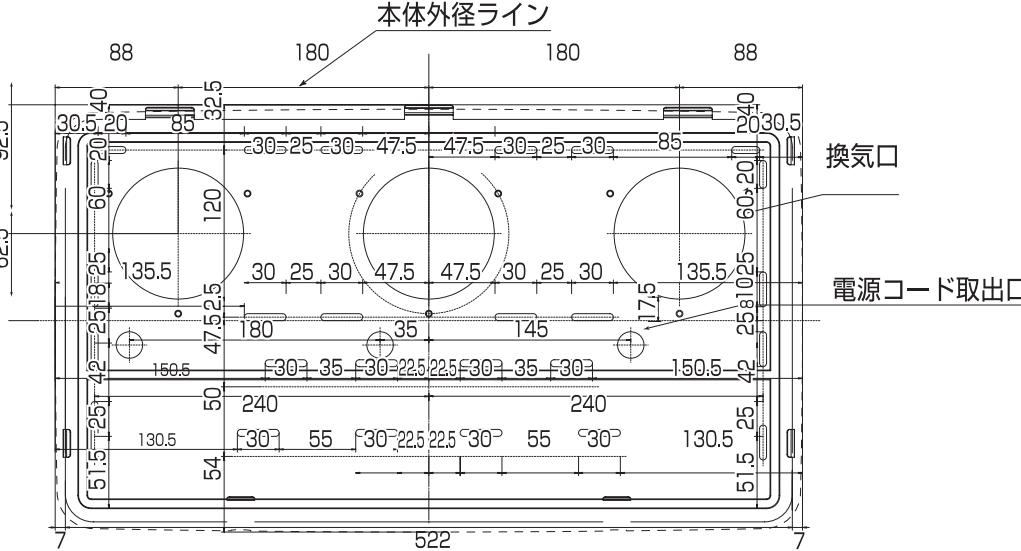
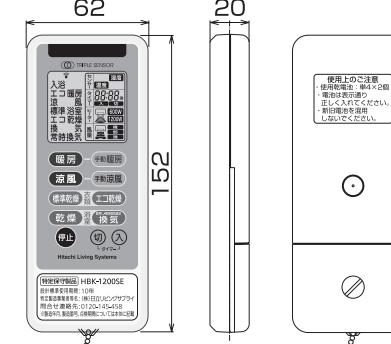
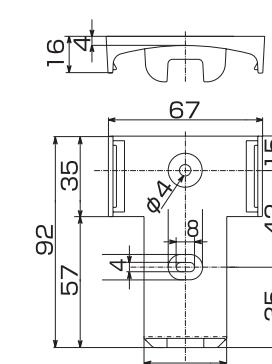
⊘ 高温になる場所に取付けないでください。
モーターの寿命を早めたり、故障の原因になります。

⊘ スチームサウナ付きの浴室に取付けないでください。
故障の原因になります。

● 効果的な乾燥・涼風換気をするため屋内から吸気できるよう吸気ガラリを開けてください。

⊘ グラファイトヒーターを棒などで触らないでください。
破損の原因になります。

● 本体が傾かないように設置してください。
ヒーターの寿命を早めたり、故障の原因になります。

⊘ 本ワイヤレスリモコンは、生活防水構造となっております。浴室内の設置も可能となっておりますが、浴槽の上や直接水やお湯がかかる場所に設置しないでください

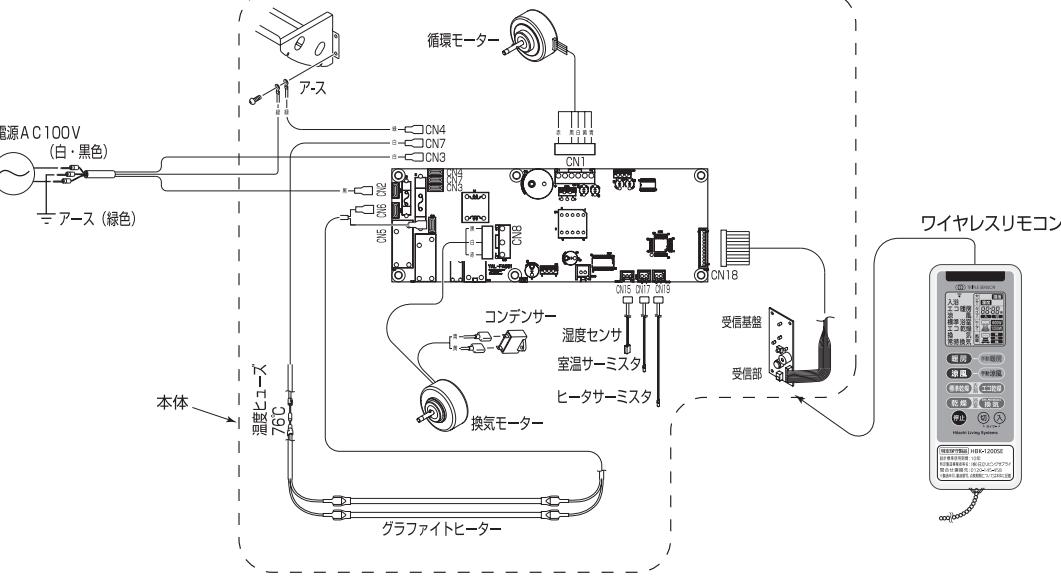
落下防止ボールチェーンを無理に引っ張ったりするとリモコンが破損するおそれがあります。

取付のご注意

■この本体は、浴室の壁面取付専用です。
浴室以外の場所、天井面への取付けはしないでください。
●法規制に適合しないことがある。
■気密性や断熱性が低い浴室では、性能が十分発揮できない場合があります。とくにモルタル・タイル壁、窓が大きいなどの在来工法の浴室は、システムバスに比べ断熱性能が著しく低い場合があり室温が上昇しにくくなります。
したがってシステムバスへの取付の場合と比べて性能が大きく劣ることがあります。
●この様な場所にやむを得ず設置する場合は、お客様に十分ご説明ください。
■グラファイトヒーターの輻射熱が洗い場に向くよう取付位置を決めてください。
●洗い場の人が座る位置に取付位置を決めてください。
■この浴室乾燥暖房機の質量は約7.0kgです。
●取付ける壁面や既設の換気口が十分に強度のあることを確認する。
十分な強度がない場合、補強工事を行う。
■本体の取付けには、各種制限や法規制など受けますので下記の点にご注意ください。
●浴室内への温風吹出口および空気吸込口の前方50cm未満の範囲内には、造営物など（乾燥する衣類を含む）を設けないこと。
●必ずアース接続工事をしてください。〔D種設置工事（旧第3種設置工事）〕

吸込口　50cm　吹出口

外形寸法と各部の名称

■本体

■取付ベース板（表面）

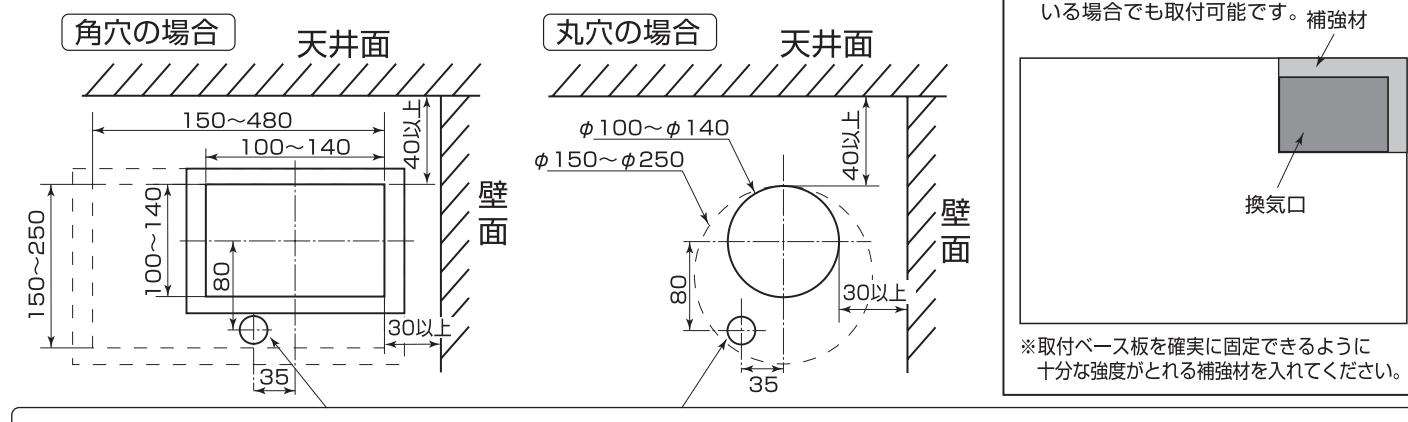
■ワイヤレスリモコン

■リモコンホルダー

16　4　67　15　35　42　92　57　4　8　35　36　φ4

■その他付属品

本体取付ねじ・・・・・・・・・・・・4本	取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・1冊 （必ずお客さまにお渡しください）
リモコンホルダー取付ねじ・・・・・2本	工事説明書・・・・・・・・・・・・・・・・1部 （必ずお客さまにお渡しください）
単4形乾電池・・・・・・・・・・・・2本	リモコン操作説明書・・・・・・・・・・・1部 （必ずお客さまにお渡しください）
電源接続用クランプコネクター・・・3個	所有者票・・・・・・・・・・・・・・・・・1部 （必ずお客さまに所有者登録の説明をお願いします）
落下防止ボールチェーン・・・・・・1本	保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・1冊 （必ずお客さまにお渡しください）

■必要に応じて現場で用意するもの

●配線コード（VVFφ2.0）　●アース線　●アース棒　●ウエザーカバー　●パイプフード
●中継ボックス　●木枠　●補強材　●ランドリーパイプ　●漏電遮断器　●換気用ダクト（不燃材料）
●電源用ブレーカー（20A）　●アンカー　●コーキング材　●保護パイプ

■結線図

取付方法

1 取付前の準備

■設置可能な開口位置・寸法　（単位mm）

●壁面の角にぴったりと通気口が空いている場合でも取付可能です。
補強材
換気口
※取付ベース板を確実に固定できるように十分な強度がとれる補強材を入れてください。

●φ100～140及び□100～140の開口の場合は、取付ベース板を開口壁面に当てて位置決めをし、電源コード通し穴（内径φ15以上の保護パイプを付ける）を開けてください。
電源コード通し穴が換気ダクト穴に近すぎる場合は、壁面のくずれを防ぐため、他の電源コード取出口からの工事をおすすめします。

A　既存の換気口を利用する場合

確認 グラファイトヒーターの輻射熱が洗い場に向くことを確認する。

●グラファイトヒーターの輻射熱が洗い場に向かないときは、洗い場に向くように新規に開口することをおすすめします。その場合、既存の換気口はふさいでください。
1.既設の換気扇または換気口を取りはずす。
2.開口は天井や壁面から換気ダクトのセンターまでの寸法が確保されているか確認する。
3.既存の換気口に木枠または保護パイプがない場合は、換気ダクトから湿気が出るので、木枠またはアルミジャバラダクト、保護パイプを使用し、先端が屋外側に出るようにする。

B　新規に開口をする場合

1.グラファイトヒーターの輻射熱が洗い場側に向くように開口位置を決める。
2.浴室の壁面にφ100～150の丸穴をあける。
（φ100～140の場合は電源コード通し穴の工事が必要）
3.換気ダクトから湿気が出るので、アルミジャバラダクトまたは保護パイプを使用し、先端が屋外側に出るようにする。

※パネル固定ねじ
取付ベース板
取付ベース板固定ねじ
本体

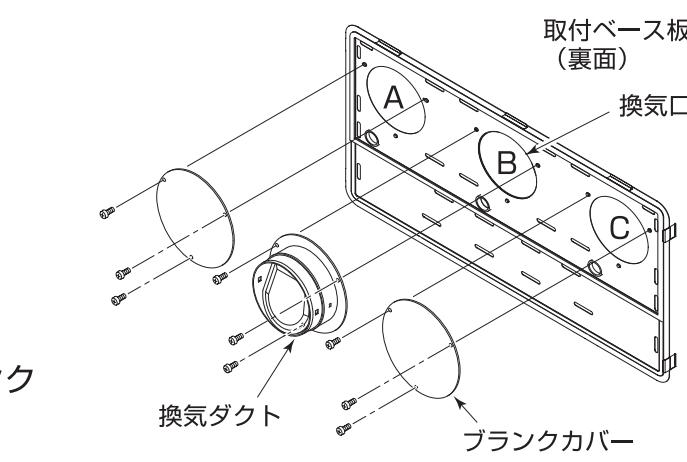
取付ベース板を外す

1.取付ベース板固定ねじ2本をゆるめる。
2.本体から取付ベース板を外す。

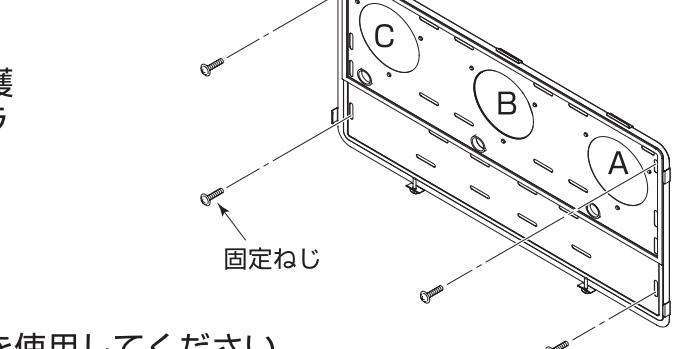
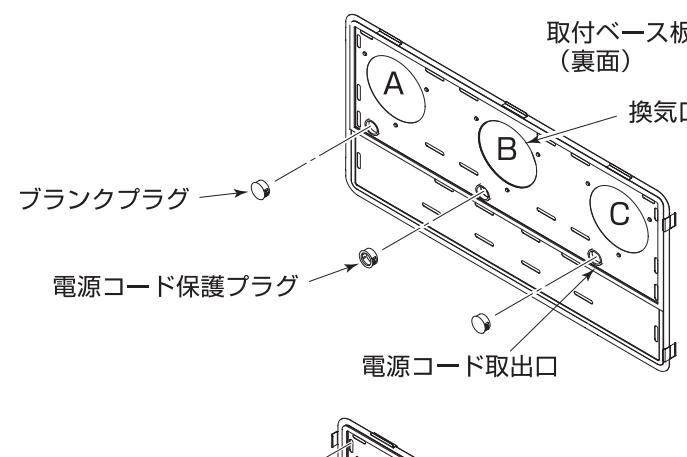
⚠ 警告	**メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける。** 漏電した場合発火することがあります。

※パネル固定ネジはメンテナンスを行う時以外は外さないでください。

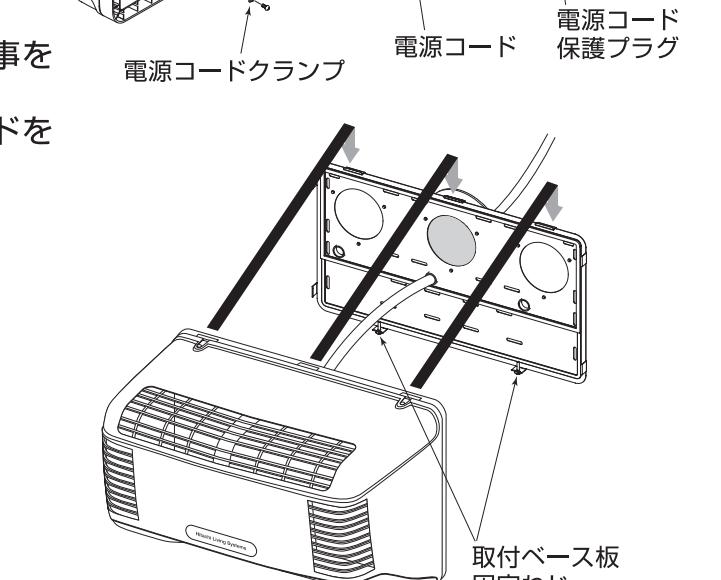
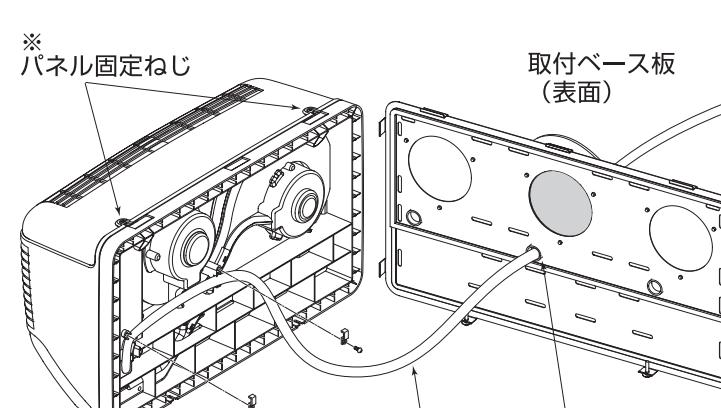
2 取付ベース板の取付

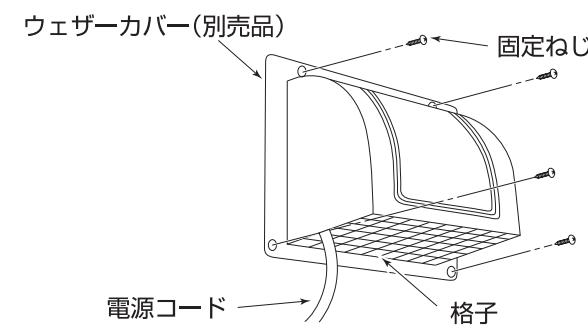
1.換気ダクト位置の設定
■開口部に合わせて、換気ダクトの位置を選択してください。
ブランクカバーは必ず取り付けてください。
■木枠または保護パイプがない場合は、換気ダクトから湿気が出るので、木枠またはアルミジャバラダクト、保護パイプを使用し、先端が屋外側に出るようにしてください。
●出荷時はBに換気ダクト、A、Cにブランクカバーが付いています。

取付ベース板（裏面）
換気口
A
B
C
換気ダクト
ブランクカバー

取付ベース板（裏面）
換気口
ブランクプラグ
電源コード保護プラグ
電源コード取出口

2.電源コード取出口の設定
■使用する電源コード取出口に電源コード保護プラグを差し込み、他の2カ所の穴にはブランクプラグを差し込んでください。
3.取付ベース板の固定
■ねじ穴は必ずコーキング処理をおこなう。
■付属の固定ねじ4本で固定する。
●同時にコーキング処理をおこなう。
●ねじが固定しにくい場合はアンカーなどを使用してください。

固定ねじ

3 本体の取付

1.取付ベース板の電源コード取出口から、電源コードを通す。
■ここでは中央に換気ダクトを取付けた場合を示しています。
右角に換気ダクトを取付けた場合は、右側の電源コード取出口へ、左角に換気ダクトを取付けた場合は、左側の電源コード取出口に電源コードを通してください。
電源コード通し穴が換気ダクト穴に近すぎる場合は、壁面のくずれを防ぐため、他の電源コード取出口からの工事をおすすめします。
■電源コード取出口に合わせて、電源コードを電源コードクランプで固定してください。

※パネル固定ねじ
取付ベース板（表面）
電源コードクランプ
電源コード
電源コード保護プラグ

2.取付ベース板固定ねじ（2カ所）で本体と取付ベース板を固定する。
■電源コードを挟み込まないように注意してください。

取付ベース板固定ねじ

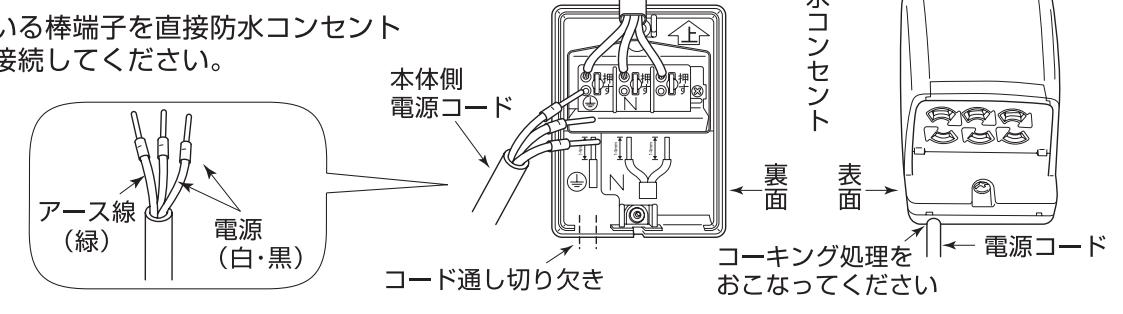
※パネル固定ネジはメンテナンスを行う時以外は外さないでください。

4 ウェザーカバー（別売品）の取付

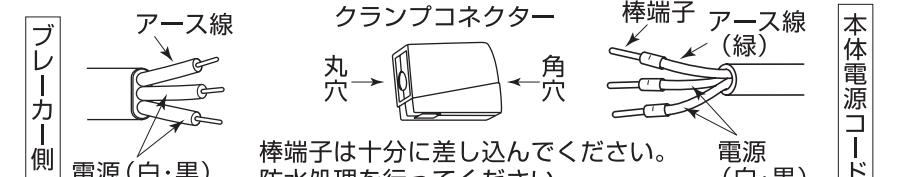
※雨水の浸入を防ぐため、ウェザーカバー（別売品）は必ず取付ける。（当社形式:WK－15）
1.ウェザーカバーの格子部分から電源コードを取り出す。
2.外壁面側にウェザーカバーを付属のねじで取付ける。
3.固定ねじのねじ穴は必ずコーキング処理をおこなう。

5 電源の接続

注意事項

■必ず専用電源ブレーカーを使用して、20A以上を確保できるようにしてください。
やむを得ず他の機器と共用する場合でも、同時に運転した際に許容範囲内であることを確認してください。この場合は、点検の際に他の機器も電源を切ることになります。
■本機の緑色リード線を必ずアース接続工事をしてください。〔D種接地工事〕
■分電盤等からの電源工事は必ず有資格者である電気工事士の方が作業を行ってください。
■配線コードはＶＶＦφ2.0の2～3芯を使用してください。
細い芯線のコードを使用すると、発熱により発火のおそれがあります。
■端子の接続部は、絶対に濡らさないよう防水処理を行ってください。
■電源コンセントは、絶対に使用しないでください。
■電源は必ず単相交流100Ｖを使用して、確実に配線をおこなってください。
間違った電源を使用したり不十分な配線をすると、火災や故障の原因となります。

ウェザーカバー（別売品）
防水コンセント
電源コード

【配線例1】

防水コンセントに接続する場合

電源コードに付いている棒端子を直接防水コンセント裏側の速結端子台に接続してください。

【配線例2】

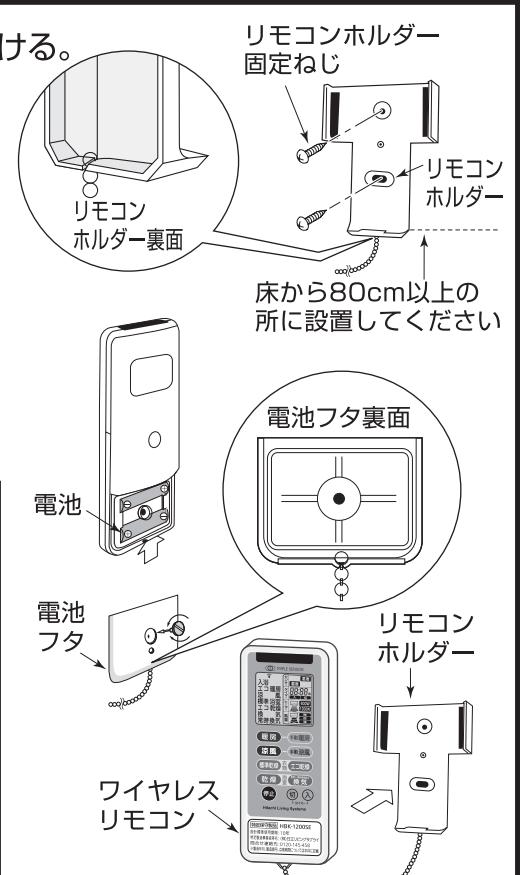
コード同士を接続する場合

付属のクランプコネクター（3個）を使用して右図のように接続してください。
クランプコネクターの向きを間違えないようにしてください。

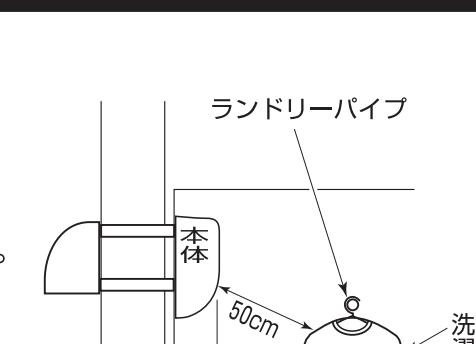
《壁スイッチを経由した現行の電源を利用する場合の注意》
●本機は電気容量約1255Wを必要としますので、壁スイッチを電源スイッチとしては使用しないでください。
火災や故障の原因になります。
●この場合は、必ず壁スイッチの配線を取り外して直結してください。

⚠ 警告	禁止	**本機の電源コードおよび棒端子は絶対に切断しない。** 漏電、感電や火災のおそれがあります。
	禁止	**配線コードにより線は絶対に使用しない。** 漏電・感電や火災のおそれがあります。
	注意	**配線工事は電気設備基準や内線規程に従って行い、必ず付属のクランプコネクターを使用する。** 漏電・感電や火災のおそれがあります。
	禁止	**コンセントプラグおよび換気扇用のスイッチは絶対に使用しない。** 漏電、感電や火災のおそれがあります。

6 リモコンホルダーの取付

1.リモコンホルダーに右図のように落下防止ボールチェーンを取付ける。
2.リモコンホルダーを付属の固定ねじ2本で固定する。
●ねじ穴は必ずコーキング処理をする。
●リモコンホルダーは床より80cm以上の高さの所に付ける。
3.ワイヤレスリモコンに付属の単4形乾電池2本を⊕⊖を正しく入れる。
4.ワイヤレスリモコンのフタに右図のように落下防止ボールチェーンを取付けフタをする。
5.フタをきちっと閉めないと水などが入り、リモコンを損傷するおそれがあります。
6.ワイヤレスリモコンをリモコンホルダーに差し込む。

取付位置の決定
（取付位置はお客様とご相談のうえ、決定してください）
【浴室外設置の場合】
リモコンには約65cmの落下防止ボールチェーンが付いています。取付位置は浴室のドアを開けて本体受信部に向けて無理なく操作できる位置にしてください。
【浴室内設置の場合】
浴室内に設置する場合は、シャワー等の水がかかりにくい場所に設置してください。浴槽付近は、浴槽の上面よりリモコン下部まで80cm以上、上方に取付けてください。

7 ランドリーパイプ（別売品）の取付

■ランドリーパイプを購入されるときは必ず1本あたり10kg以上の重量に耐える不燃性と耐食性のある品物を選んで取付ける。
当社ランドリーパイプセット（別売品）のご購入をおすすめします。（当社形式：LP-S1800T-2）
■ランドリーパイプの位置は必ず図の寸法図の寸法で取付ける。

⚠ 注意	禁止	**本体の吸込口・吹出口から、洗濯物を掛けたとき50cm以上確保できるようにランドリーパイプを取付けてください。** 近づけすぎると火災や故障、衣類の変色や変質の原因になります。

8 試運転

■取付け工事終了後、正しく結線されているか確認してください。
■取扱説明書を参照して、お客さま立ち会いで試運転を行い、異常がないか確認してください。
1.本体は確実に取付けられているか？
2.ワイヤレスリモコンを操作して、取扱説明書どおり動作するか？
3.運転中に振動や異常音がしないか？
■引き渡しまで期間があく場合は、試運転確認後、分電盤の専用ブレーカーを切り、ワイヤレスリモコンの電池を抜いてください。
■本書、取扱説明書、リモコン操作説明書、所有者票、保証書とともにお客さまにお渡しください。

2012　01　A